

実施項目	(38) 地方公営企業の健全化 〔ア 水道用水供給事業・工業用水道事業〕	担当部課 (室) 名	企業庁総務課
<p><b>1. これまでの取組状況および課題</b></p> <p>経営計画に基づき、将来の財政負担が過大とならないように、計画的な施設整備や更新工事に取り組むとともに、平成23年度からの上水道事業の統合に向け受水市町との調整や組織再編の検討を行った。</p> <p>また、動力費など維持管理コストや支払利息の削減の他、職員数の削減、特殊勤務手当の見直しを実施するなど経営基盤の強化に取り組んだ。</p> <p>水需用が伸び悩む中、今後は、施設や管路の老朽化による更新や耐震化対策など多額の費用が必要となっており、平成22年度に策定する「滋賀県企業庁水道ビジョン」や、その実施計画である次期経営計画に基づき、計画的かつ効率的な事業展開を図る必要がある。</p>			
<p><b>2. 計画期間中における取組</b></p>			
<p><b>(1) 基本的な考え方</b></p> <p>平成 22 年度に新たに策定する「滋賀県企業庁水道ビジョン」(H23～H32) および経営計画(H23～H27)に基づき、企業庁の使命である安全で安心な水を、安定して安価に供給できるよう、計画的かつ効率的な事業展開を図る。</p> <p>これらの計画では、平成 23 年度からの企業庁組織および水道用水供給事業の統合によるスケールメリットを発揮し、より一層の合理化に努め、経営基盤の強化を図るものとする。</p>			
<p><b>(2) 具体的な取組</b></p> <p><b>ア 計画的な事業運営と進行管理</b></p> <p>「滋賀県企業庁水道ビジョン」を事業運営の指針とし、その実施計画である経営計画に沿って、計画的に事業を推進する。</p> <p>事業の計画的な推進のため具体的な目標値を設定し、毎年度期中および期末に取組状況について、課題の整理、分析・評価、対応策を検討し、目標達成に向け積極的に取り組むとともに、必要な見直しを行うなどP D C Aサイクルによる目標管理を徹底する。</p> <p><b>イ 適切な維持管理と効率的・効果的な施設整備の推進</b></p> <p><b>(ア)適切な維持管理の推進</b></p> <p>管路や施設・設備の基本情報の他、工事図書、補修・点検データ等の各種データを地図情報と一体化して、リアルタイムで管理できるシステムを構築し、日常の維持管理に的確、かつ効率的に対応する。これにより、施設・設備の延命化によるトータルコストの削減や危機管理体制の強化を図るとともに、更新計画策定の基礎データとしても活用する。</p> <p><b>(イ)アセットマネジメントの手法による更新計画の策定</b></p> <p>平成 22 年度に構築する設備保全システムと平成 23 年度に構築する管路管理システムのデータを基に、アセットマネジメント(資産管理)の手法による、中長期的な更新計画を策定し、効率的・効果的な施設整備を推進する。</p> <p><b>ウ 経営基盤の強化</b></p> <p><b>(ア)定員の適正化</b></p> <p>平成 23 年度の上水道事業統合に合わせた組織の一元化にあたり、効率的な人員配置や業務内容の見直しを行い、新体制を構築し、職員定数の削減を図る。</p> <p>平成 22 年 4 月現在 76 人→平成 23 年 4 月 69 人</p> <p><b>(イ)維持管理コスト等の削減</b></p> <p>平成 22 年度に策定する省エネ計画に基づき、エネルギー削減の取組を行う。これによる動力費の削減や、事業統合によるスケールメリットを活かした発注方法等の見直し、国の繰上償還制度を利用した高金利企業債にかかる将来の支払利息の低減などにより、維持管理コスト等の削減に努める。</p>			
<p><b>(3) 平成27年度以降の取組の方向</b></p> <p>平成27年度に経営計画(H28～H32)の更新を行うとともに、この計画に沿ってより一層の</p>			

経営の合理化、効率化を図り、事業の推進に努める。

また、平成27年度より、本格的な管路更新工事に着手する計画をしており、新たに策定する更新計画により、将来収支も見通した効率的で効果的な事業の実施を行う。

### 3. 具体的取組項目のスケジュール

取組項目	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
ア 計画的な事業運営と進行管理	計画的な事業の実施と評価 ・見直し			→
イ 適切な維持管理と効率的・効果的な施設整備の推進 ・適切な維持管理の推進	管路管理システム構築	システムの運用による維持管理の推進		→
・アセットマネジメントの視点に立った更新計画の策定	管路調査、水運用等の検討	管路の重要度等の評価	管路等の更新計画策定	管路更新の実施設計
ウ 経営基盤の強化 ・定員の適正化	定員の見直し、適正な人員配置の実施	人員配置の検証		→
・維持管理コスト等の削減	省エネルギーへの取組、繰上償還等のコスト削減策の実施	省エネルギーへの取組等コスト削減策の実施		→